

2026年1月23日

各 位

会 社 名 京セラ株式会社
代表者名 代表取締役社長 谷本 秀夫
(コード 6971 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 執行役員常務
コーポレート担当 (最高財務責任者)
千田 浩章
TEL. 075-604-3500

(開示事項の経過) 連結子会社等の異動（株式譲渡）完了に関するお知らせ

当社は、2025年11月21日付「連結子会社等の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」にて公表のとおり、当社の米国子会社である Kyocera Industrial Tools, Inc. の全株式について、TL Sapphire Holdings, Inc. への譲渡（以下、本株式譲渡）が完了しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 株式譲渡完了日

2026年1月22日（米国東部時間）

2. 株式譲渡価額

754億13百万円

（注）最終的な譲渡価額は、異動する子会社等の企業価値に、現金、負債、純運転資本、取引費用等の調整を行ったうえで決定されるため、今後変動する可能性があります。

3. 今後の見通し

本株式譲渡が当社グループの2026年3月期連結業績に与える影響につきましては、現在精査しております。影響が判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

【将来の見通しに関する記述等について】

当資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点での入手できる情報に鑑みて、当社が予想を行い、所信を表明したものであり、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因は下記を含みますが、これらに限られるものではありません。

- (1) 日本及び世界経済の一般的な状況
- (2) 当社が事業や輸出を行う国における経済、政治、法律面の諸条件の想定外の変化
- (3) 為替レートの変動が当社の事業実績に及ぼす影響
- (4) 当社製品が直面する激しい競争による圧力
- (5) 当社の生産活動に用いられる原材料のサプライヤーの供給能力及びその価格の変動
- (6) 外部委託先や社内工程における製造の遅延又は不良の発生
- (7) 今後の取り組み又は現在進行中の研究開発が期待される成果を生まない事態
- (8) 買収した会社又は取得した資産から成果や事業機会が得られない事態
- (9) 優れた人材の確保が困難となる事態
- (10) サイバー攻撃等により当社の情報セキュリティが被害を受ける事態及びその復旧や維持に多額の費用が必要となるリスク
- (11) 当社の企業秘密及び特許を含む知的財産権の保護が不十分である事態
- (12) 当社製品の製造及び販売を続ける上で必要なライセンスにかかる費用
- (13) 既存の法規制又は新たな法規制への意図しない抵触
- (14) 環境規制の強化による環境に關わる賠償責任及び遵守義務の負担
- (15) 世界的な気候変動に關連する諸課題への対応遅れによるコスト増や企業ブランドの低下を招く事態
- (16) 疾病・感染症の発生・拡大、テロ行為、国際紛争やその他類似の事態が当社の市場及びサプライチェーンに及ぼす影響
- (17) 地震その他の自然災害によって当社の本社や主要な事業関連施設並びに当社のサプライヤーや顧客が被害を受ける事態
- (18) 売掛債権の信用リスク
- (19) 当社が保有する金融商品の価値の変動
- (20) 当社の有形固定資産、のれん並びに無形資産の減損処理
- (21) 繰延税金資産及び法人税等の不確実性
- (22) 会計基準の変更

上記のリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財政状態は、将来の見通しに明示又は默示される将来の業績、事業活動、展開又は財政状態と大きく異なる場合があります。当社は当資料に含まれている将来の見通しについて、その内容を更新し公表する責任を負いません。

以上